

心きらい (道徳教育) 参観日 11/11 (金)

多くの保護者や地域の皆様に、授業・作文発表・音楽発表をご参観いただきありがとうございました。子ども達の様子はいかがでしたでしょうか。

小学校で学んだ道徳は、将来生きていくための礎になるはずですから、本校では教師も児童も一時間一時間の授業を大切に、年間35時間以上の授業を欠かすことなく行っています。そして、1年生の入学から卒業までの6ヵ年の間に、「豊かな心」を育てています。

全体発表では、低・中・高の「家族愛」をテーマにした作文発表。母・父・兄弟など家族との関わりや人間的な温もりを感じるあたたかい作文発表でした。

音楽発表では「全校の歌声」、中央区音楽祭で発表した「フルートの二重奏」「独唱」「合唱」「鼓笛隊の合奏」など、皆様に感動を届けたいという熱い想いで発表しました。発表後には、たくさんの方から「とても良かった。感動した。」という声をかけていただきました。



ホームページに、授業・発表の様子、家庭で取り組む高知の道徳」を使った学年懇談の様子を配信しています。ぜひご覧ください。

参観授業「風に乗って」 3年1組の授業 (学級通信から)

「風に乗って」という高知県の資料を使って授業を行いました。子どもたちに、ふるさとを愛する気持ちや伝統を大切にする気持ちをもってもらうことがねらいでした。

子どもたちにとって難しい内容でしたが、自分の意見や思いを伝えようがんばっていました。でも、やはり難しかったのか、普段より手を挙げる人が少なかったです。

☆お家の方より (一部)

○意見もしっかり発表する3年生の姿に成長を感じました。手が挙がってなかったの、「どうして?」と聞くと道徳は苦手だそう・・・。道徳が一番大切なことだと思うのですが、算数のように答えが一つに決まってないだけに、課題についてもっと自由に自分の意見や気持ちを持って積極的に取り組んでほしいです。

○色々と考えて教材など作っていて、風の大きさも分かりやすいようにしていて、すごい子どもたちのためにありがたかったです。

○3年生では、難しいな、と正直感じました。ですが、我が子が伝統(四万十市の)について守っていきたいことをそれなりに答えていたので、授業で聞いていたんだなと感心したことでした。

○今の子どもたちにとって分かりやすい題材だったと思います。「ゲーム脳」になることを心配している親は、そのゲームを子どもに与えてしまっている矛盾があります。しかし、それはもう時代のせいでもあります。この話のように、先輩方から、古き良き物(事)にも、あえて関わらせてみる、感じさせることの大切さも親としての責任だと感じました。

【担任より】たくさんのご意見をありがとうございました。子どもたちの素直な思いをさらに引き出せるよう私もがんばります。

16畳の大風：用務員の中村さんが縫ってくれました。

